



湾ダブルしおがま・海体感会 2023 実施報告書

「千賀の浦カヌー体験」 実施報告

■実施報告

塩竈市内在住の親子を対象にカヌー・カヤック体験の海辺イベントを3回 実施しました。

イベント3回の実施で親子42組延べ102名の市民が参加し、海辺でのカヌー・カヤック体験を楽しみました。市内学区でインフルエンザが流行していたこともあり、前日当日の参加キャンセルが数件ありました。

スタッフは関係者および有志による参加を含めて延べ45名に協力いただきました。

参加人数

	参加者	大人	子供
千賀の浦カヌー体験 7月22日（土）	31	17	14
千賀の浦カヌー体験 8月5日（土）	39	17	20
千賀の浦カヌー体験 8月19日（土）※	32	16	16
合計	102		

※8月19日は塩釜市教育委員会の実施事業「しおがま”なんでも”体感団」への協力

事故・ケガの有無／イベント実施中の事故や熱中症などの発生はありませんでした。

- ・ 船酔いで早退 1件
 - ・ 靴を脱ぎ裸足になった児童が1名おり、足裏にトゲが刺さっていたと後日連絡がありました。
事前に裸足はNGと注意事項にあげているが、休憩中に靴をぬいで歩いていた様でした。
次回以降はより具体的に何が怪我のもとになるかをあげて、注意を促すようにしました。
 - ・ 新型コロナウイルス関連／イベント実施による感染の拡大はありませんでした。
-

■実施要項

千賀の浦力ヌー体験

日程 / 7月22日（土）（天候不良での順延なし）

8月5日（土）（天候不良での順延なし）

8月19日（土）（天候不良での順延なし）

時間 / 10:00-13:00

定員 / 各回 親子15組 40名程度

対象 / 塩竈市内在住の親子（幼稚園児以上）

参加費 / 1名につき1,000円（体験料・保険料・軽食の実費相当額）

会場 / 塩釜港内 北浜緑地護岸親水護岸エリア

募集方法 / 市内小学校全校 児童へチラシ配布、応募多数の場合は抽選 申込方法 / google フォーム、メール（問合せ時）

■配布チラシ

Wonderful Shiogama Umi Taikankai

千賀の浦力ヌー体験 & 海辺の生き物観察

7/22(土) 10時~ 8/5(土) 10時~ 順延なし

お問い合わせ先：「Wonderful Shiogama」事務局（塩竈市北浜4丁目71番10号）
電話：080-5221-0746 メール：wonderfulshiogama@gmail.com

体験エリアマップ

開催地 / 塩竈北浜緑地公園予定地 前面海域

集合場所 / 北浜マリンベース クラブハウス（塩竈市北浜4丁目71-10）

募集定員 / 各回 親子15組（申込抽選制）

申込方法 / こちらのQRコードを読み込み、申し込みフォームに必要事項を記入し送信してください。

●申込抽選制となっております。

●申込締切 7/9（日）、抽選後に結果をメールでご連絡します。

●体験会参加は1シーズン1回までとなります。

●はじめての方を優先させていただきます。

募集対象 / 市内在住親子（小学生を主に、幼稚園児以上の子ども）必ず保護者同伴。

参加費 / 参加お一人様 1,000円（体験実費相当、イベント傷害保険料、軽食付き）

イベント諸注意 / ●台風の接近や天候不順により中止になる場合があります。

前日朝に判断し、中止の場合は申込代表者様へメールでご連絡します。

●未成年の方は、保護者の同意を得た方のみ参加できます。（※子供だけの応募および参加はできません）

●屋外水上でのアクティビティ体験です、運動に適した服装、靴での体験参加になります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 14 海の豊かさを守ろう

「ふるさとの海」の豊かさを守り、守る活動の一環として、海辺の生き物観察と魚の放流を行い、持続可能な海辺の環境活動に取り組みます。

■体験当日の流れ

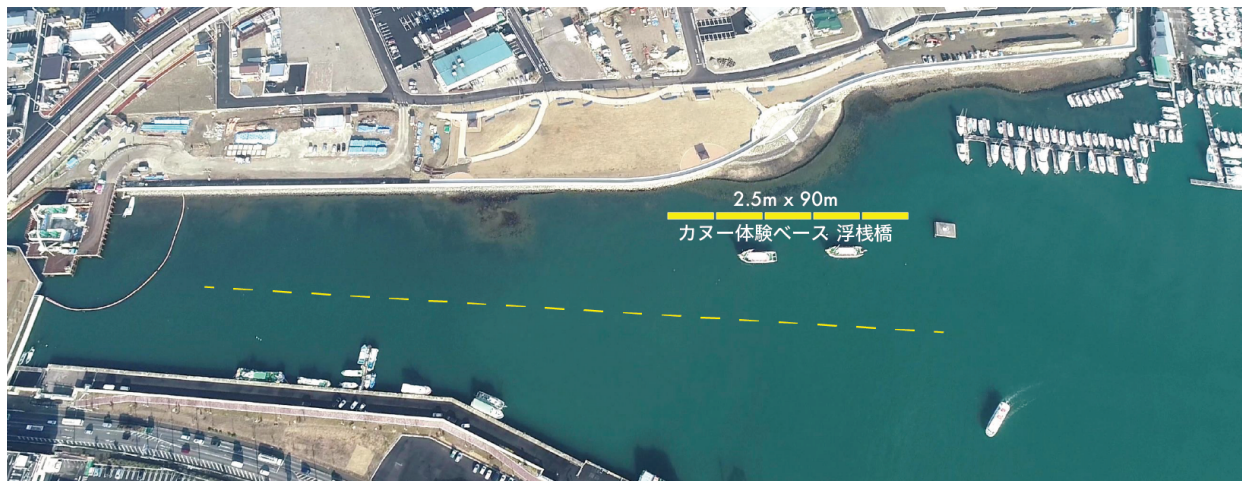
9:50~	10:00~	11:00	12:00	~13:00
・受付 ・検温 ・番号案内	・挨拶 ・スタッフ紹介 ・安全注意点の説明 ・ライフジャケットの着方 ・カヌー・カヤックの漕ぎ方 ・桟橋移動		・休憩 ・軽食	
	カヌー・カヤック体験		カヌー・カヤック体験	
			・桟橋で生き物観察	

■スタッフ

実行委員会のメンバーから運営スタッフ、インストラクター、保安艇の操船を担当しました。
また、塩竈市役所職員や塩釜商工会議所青年部からの有志により運営スタッフとしてボランティア協力をいただきました。



■体験エリア／千賀の浦カヌー体験



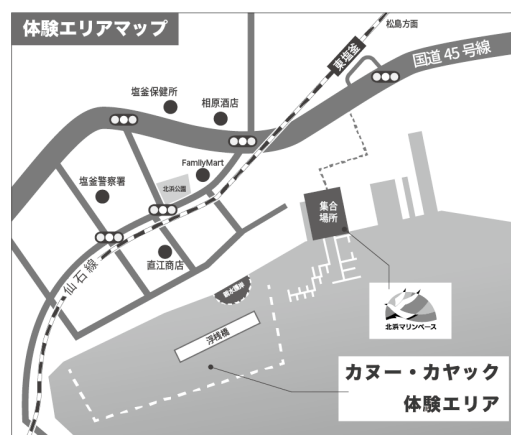
塩竈市北浜緑地公園 親水護岸前の付近に浮き橋（2.5m x 90m）を設置し体験ベースとしました。真夏の炎天下での体験となるため、手洗い用の水とクーラーボックスに冷やした飲料を準備し、休憩時の日陰用パラソルを昨年よりも増やし椅子テーブルを設置して快適な体験になるように努めました。

体験ベースには船で渡り、渡し船の発着をくろしお北浜マリンベースから行いました。カヌー体験エリアの区域を分かりやすくするため体験エリアの境に黄色いブイを設置しました。初めてのカヌー・カヤック体験でも安心して参加できる体制で実施しました。

保安艇が体験エリア内の安全を監視しました。また、風向きや船舶による引き波の接近などがあれば参加者に伝えました。



参加者1組ごとに日陰ができる様にパラソルを増やし、テーブル椅子も配置しました。



■安全対策

イベント実施を安全に進めるため、下記のことを行いました。

ライフジャケットの着用	ライフジャケットの正しい着用の仕方と効果を説明し、イベント中は参加者スタッフともに常時着用しました。
船上の注意	船艇への乗降時の転落や操船時の沈した場合の対応などを参加者に説明し、スタッフの対応を確認しました。
体験エリア内の注意	浅瀬や岩場などの怪我する恐れのある場所の確認、航行する船への接近の注意喚起、浮桟橋上のロープなどつまずき易い箇所の確認。
海上の保安艇	海上安全の監視と救助役を務める船を出しました。
ブイの設置	体験エリアを示すブイを設置し、参加者のエリア内での体験を指示しました。
風向きの注意	風向きによってカヌーカヤックの船体が流されることの注意を行いました。
救急箱の準備	ケガの応急処置のための救急箱を準備。
熱中症対策	パラソルによる日陰の設置、飲み物を飲むことを声がけし、クーラーボックスに飲み物を準備しました。

- ・当日の事故や大きなケガはありませんでした。

操船を教えるインストラクターは、事前にインストラクター検定の講習を受けた有資格者が担当し、参加者への操船レクチャーの他にも体験イベントの安全面での対策を指導及びサポートしました。

体験エリア内の海上の状況を保安船2艇が監視を行い、参加者の操船を誘導しました。

■感染防止対策

感染防止の対策に下記のことを行いました。

検温	当日の受付で参加者およびスタッフの検温を行いました。 (熱のある方はいませんでした。)
アルコール消毒の準備	当日受付のほか、各所にアルコール消毒ボトルを設置し、手洗いと消毒ができるようにしました。
参加者の場所の指定	陸上の待機場所、栈橋上の待機場所を番号で指定し、参加グループごとの距離を離すように心掛けました。

イベント実施による新型コロナ感染は確認されておりません。

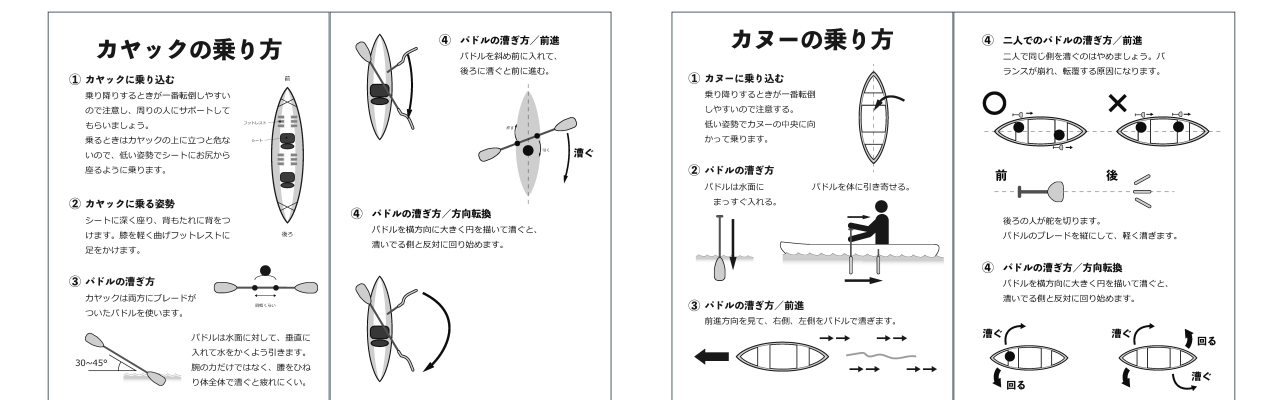
■インストラクター

インストラクター担当のスタッフが安全に操船体験ができるように、参加者にカヌー・カヤックのことをレクチャーし、体験をサポートしました。

カヌーカヤックの操船を教えるインストラクターは、JSCA（日本セーフティーカヌーイング協会）がガイドラインを定めているインストラクター検定を合格した有資格者が担当しました。インストラクターの指導により、体験中の事故の防止、適切な救助の方法、応急救護など、より安全なイベント実施に向けた準備が行われました。



カヌー・カヤック体験の前には参加者に向けて、乗り降り、パドルの持ち方、漕ぎ方（前進、後退、旋回）のレクチャーを行いました。





■カヌー・カヤックの体験

特設した浮桟橋からカヌー・カヤックに乗り、体験エリア内を自由に操船しました。

カヌー・カヤックに初めて乗る参加者が多かったのですが、カヌーとカヤックのそれぞれの乗りごごちや漕ぎ方の違いを体感し、しばらくすると乗りこなすことができるようになりました。体験の後半には、操船に慣れた子供は一人でカヌーやカヤックに乗れるまでになりました。

浮桟橋上はカヌー・カヤック体験のベースとなって、参加者の休憩やカヌーからカヤックへの乗り換えに利用しました。船艇への乗り降りの際には、転落しないようにスタッフがサポートに付き事故の防止に勤めました。





タイプの違うカヤックをそれぞれ操船し、漕ぎ方などの違いを体験できていました。はじめは親子ペアで乗っていましたが、慣れてくると子供だけのペアで漕ぎ出すくらい積極的に楽しみ、体験をたのしんでいる様子が見られました。



SUP（スタンドアップパドル）体験も行いました。SUPを体験したい子供たちが常に順番待ちをしている状態でした。乗ってみると意外と安定しているので、すぐに乗りこなしてカヌー・カヤックとは違った乗り心地を楽しみました。



暑さ対策として、日陰となるパラソルを昨年より数を増やし設置しました。炎天下の日差しが強い時間での体験なので、スタッフは常に水分と塩分補給を繰り返し声かけを行いました。クーラーボックスには冷やした飲み物を準備し、参加者が持参した飲み物もあわせて飲んでいたので、脱水症状になった参加者はいませんでした。



昼休憩時には軽食と飲み物を提供し、桟橋上で昼食をとりました。手洗い用の水とアルコール消毒を配置していたので衛生面で心配という声はありませんでした。

体験中のトイレは桟橋から陸側クラブハウスまで船で送迎しました。



体験の最後には希望者を募ってレースを行いました。1位から3位までの順位には表彰状と景品が贈られました。最後に参加者にはアンケートを記入いただいて、カヌー体験は終了となりました。



■生き物観察

海辺にいる生き物を捕獲し観察しました。



カニを捕まえることができました。

観察した生き物は子供たちの手で海にリリースしました。

今シーズン捕まえた生き物

・クサフグ ・メバル ・ボラ ・エビ ・カニ（イソガニ、ガザミ）



「ふるさとの海」の海辺を身近に感じることで、地域の海辺に興味関心を引き出し、海の楽しさや環境の大切さを体験を通して学ぶことができました。

■関係団体

主催 湾ダフルしおがま・海体感会実行委員会

共催 塩竈市

後援 一般社団法人日本マリン事業協会東北支部 南地区分会
塩竈市教育委員会
東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所
浦戸諸島をサポートする会
BAYWAVE 78.1FM
塩竈市観光物産協会
塩釜商工会議所
塩釜商工会議所青年部
松島湾アマモ場再生会議

協賛 (株)くろしお北浜マリンベース
くろしおフィッシングクラブ
塩竈海感謝祭実行委員会
塩竈カジキ釣り大会実行委員会
東北重機工事株式会社
東北ドック鉄工株式会社

(五十音順)

協力 塩竈市役所若手職員プロジェクト

多くの皆様にご支援ご協力いただきました。誠にありがとうございました。

また、

企画実施にあたりボランティアスタッフとして、松島湾アマモ場再生会議、塩釜商工会議所青年部、塩竈市市役所職員有志の方々、市民有志の方々にイベントの運営のサポートをしていただきました、ご協力ありがとうございました。

湾ダブルしおがま・海体感会実行委員会

連絡先

主管事務局

所在地／ 〒985-0003 宮城県塩釜市北浜4丁目71番10号 くろしお北浜マリンベース

電話／ 022-365-3220 FAX／022-365-3244

メール／ takayama@kuroshiomarine.co.jp

事務局長／ 高山朋子

イベントプロジェクト事務局

電話／ 080-5221-0746

メール／ wonderfulshiogama@gmail.com

担当／ 大沼剛宏

■今後の展望

昨年に引き続き「千賀の浦カヌー体験」の海辺イベントが開催でき好評をいただきました。新型コロナウイルスの行動制限も解除され、人が集まるイベントも徐々に元通りになっていく中でのカヌー体験会でした。子どもたちはこの数年間、自然の中で遊びを通して様々なことを体験し学ぶ機会を制限されてきました。これからはその期間にできなかったことにもたくさん挑戦して、様々な経験を積み学べる機会を増やすことが求められていると感じます。

地域の海に親しむこのカヌー体験は、塩釜の海辺を楽しめる貴重な機会として子供たちに楽しんでもらえるように実施してきました。このカヌー体験を通して「ふるさとの海」の魅力を感じてもらい、海辺の環境に興味と関心を持って地域愛を育むことに繋がればと考えています。

海辺の魅力は塩竈の「資源」です。塩竈の資源となる「海辺」をこの地域に暮らす人の憩いの場所として活用し、ふるさとの海辺に親しむ人たちを増加させる「コンテンツ」づくりを行なっていきます。カヌー・カヤック体験は海辺の魅力を伝えるマリンレジャーとして、市民が定期的に海辺を訪れる入り口になります。参加者の皆さんから次回開催の期待も多くいただいています。

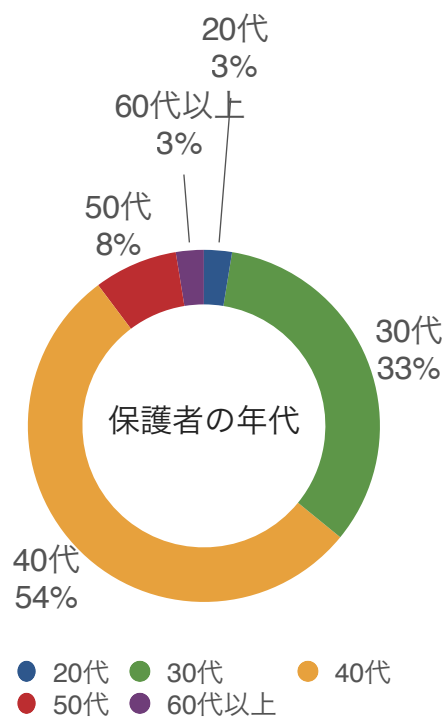
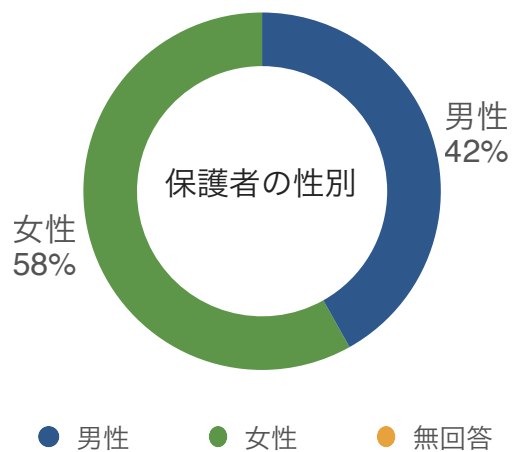
- ・ 来年以降の定期的な開催
- ・ 継続的な開催のための運営体制づくり
- ・ 海辺の魅力を伝えるコンテンツの提供

を今後進めていきます。

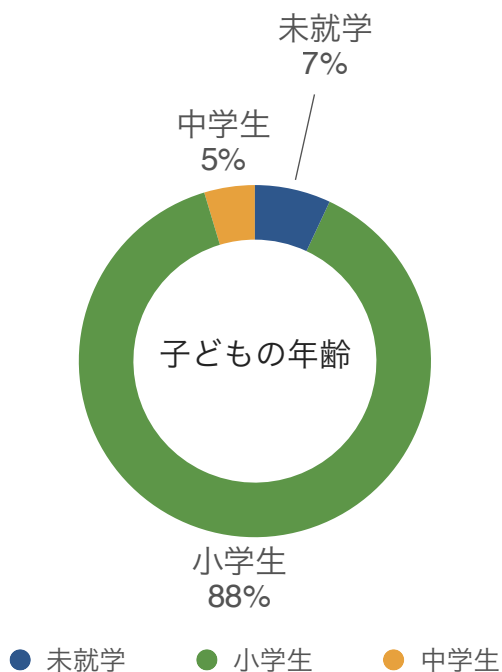
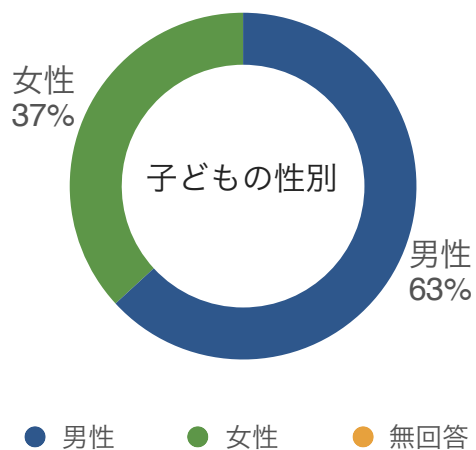
市街地沿岸の公園整備も進み、市街地・公園から連携した海辺で遊べるコンテンツは、海辺の魅力をアップするだけでなく、市街地や公園を含む塩竈地域の魅力アップにつながると考えられます。市民にはふるさとの海を「私たちの海」だと意識してもらい、海辺があることの楽しさを感じてもらいたいと思います。そして仙台圏に暮らす人たちの「ふるさとの海」が塩竈の海辺になるように、沿岸のエリアー帯となる「コンテンツ」を充実させていく取り組みを行います。

■参加者アンケート集計

Q1-参加者の構成比（保護者）



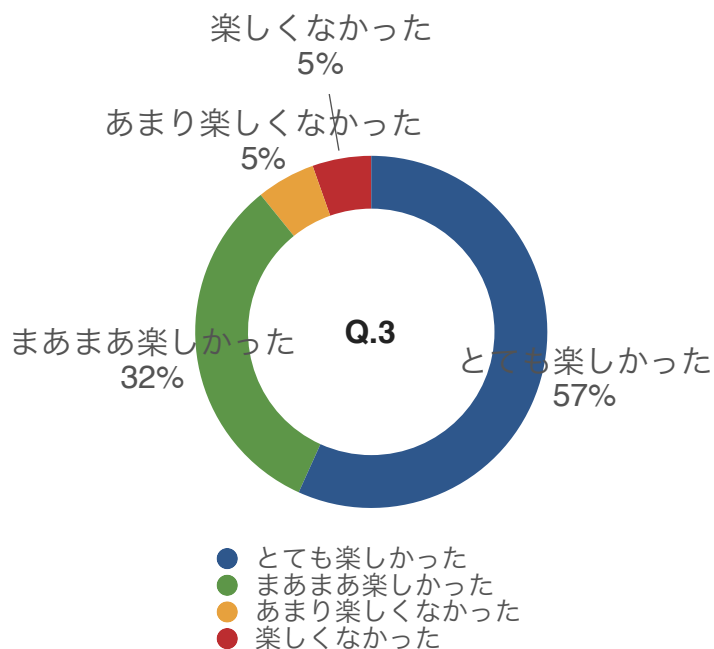
Q1-参加者の構成比（子ども）



Q.2-カヌー・カヤック体験は楽しかったですか？



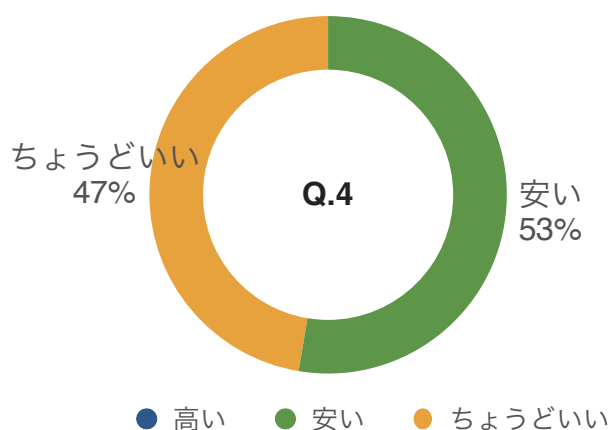
Q.3-海の生き物観察は楽しかったですか？



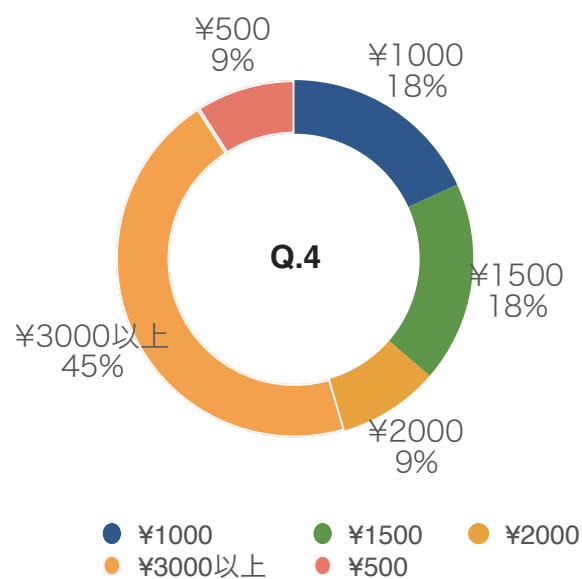
Q.4-参加費についてどのようにお考えですか？

(今回の参加費1,000円／

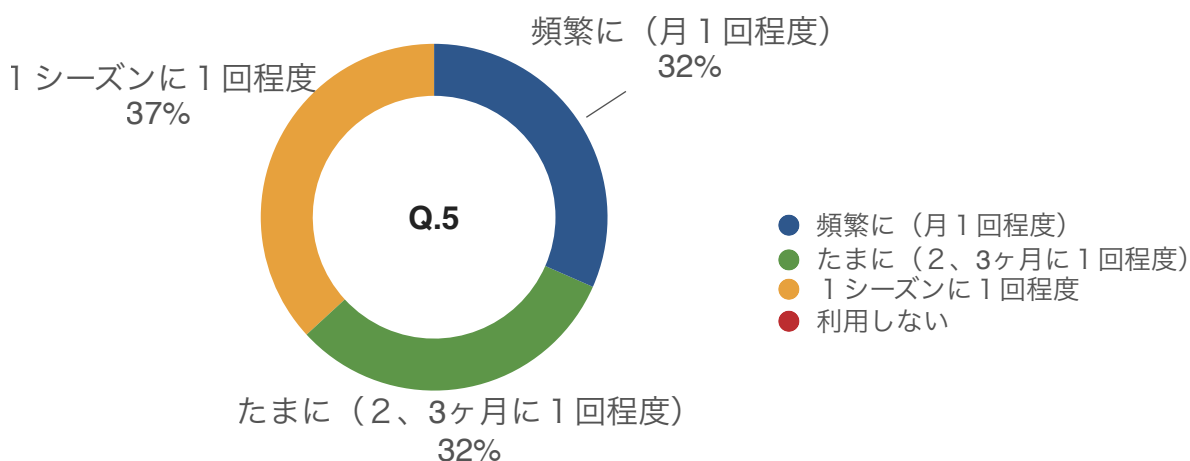
体験料・保険料・軽食費の実費相当額)



適正と思う価格は？



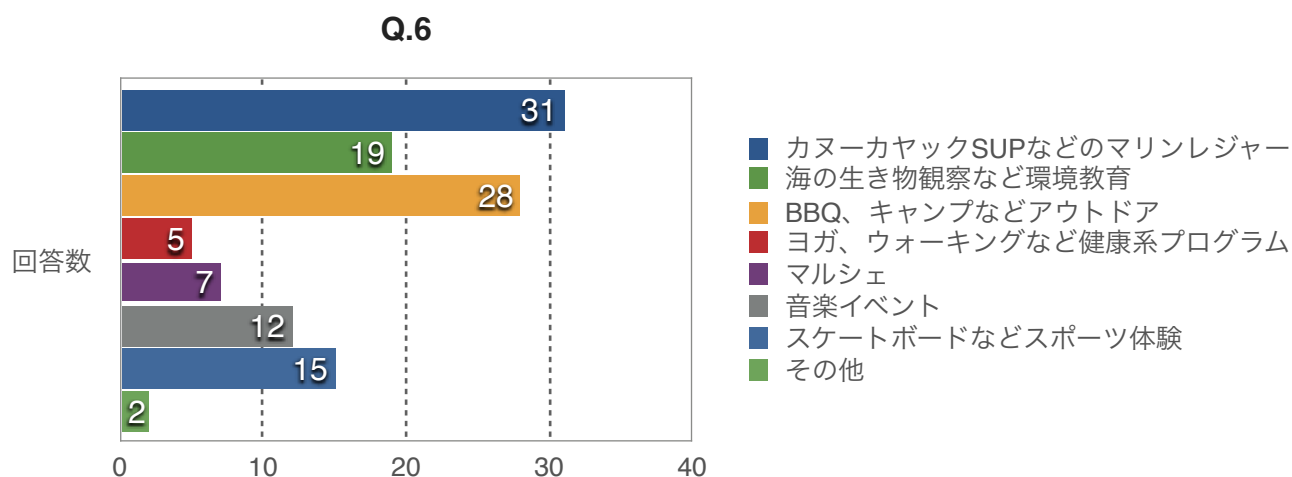
Q.5-カヌーカヤックなどマリンレジャーが体験できる場が常設されたら、日常的に訪れたいですか？（期間は5月から10月を想定しています。）



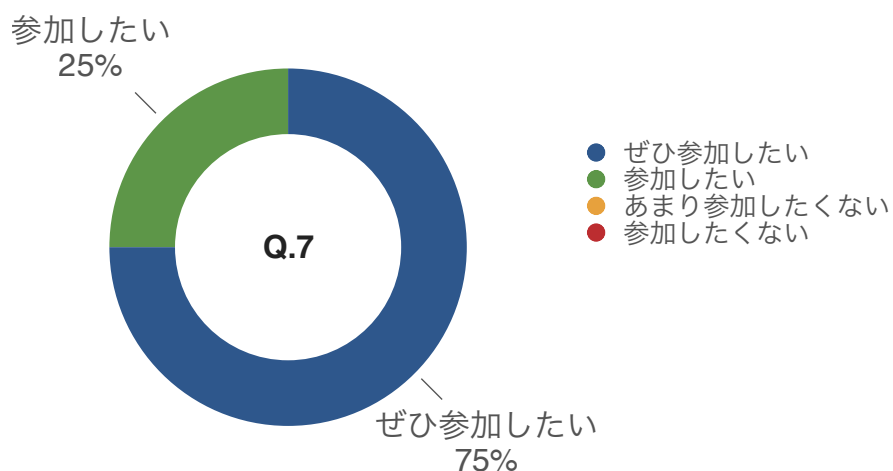
その理由

- ・楽しかったから
- ・子供に色々な体験をさせたいから
- ・なかなか体験できないから
- ・海に触れ合う機会と気持ちがいい
- ・塩竈の魅力と紹介したい

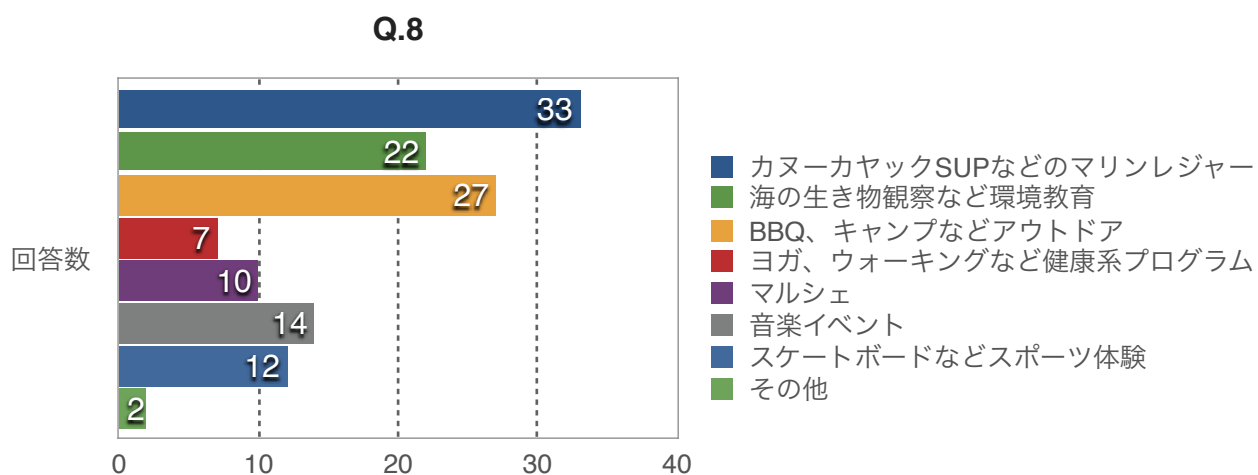
Q.6-今後、周辺の公園と一体的に活用し、遊びの場や機会の提供を考えています。どのような遊びに興味がありますか？（複数回答可）



Q.7-今後、浦戸諸島における島巡りなどマリンレジャーを提供していきたいと考えています。
どのような遊びに興味がありますか？（複数回答可）



Q.8-今後、浦戸諸島を活用し、遊びの場や機会を提供していきたいと考えています。 どのような遊びに興味がありますか？（複数回答可）



「Q.9-感想や要望などがありましたら、自由に記述してください。

- ・ とても楽しくカヌーカヤックの体験が出来ました。
 - ・ とても楽しく友だちとも会えて嬉しかったです。またカヤックSUPをやりたいです。
 - ・ 人を招いても市内よりも松島や仙台等に遊びに出かけるので、こうしたマリンレジャーを楽しめる場所が常設されたらとても嬉しいです。
 - ・ 初めて体験でしたが、安全に安心して楽しむことが出来ました。
 - ・ カヤックなどの他に魚の仕掛けもあり親子で楽しめました。お弁当も美味しかったです。
 - ・ 子供が怖がってしまいましたが、一緒に乗っていただき楽しく体験できました。
 - ・ 最後までいたかったのですが、子供が眠いとか足が痛いというので途中で帰るのがとても残念です。
 - ・ SUPは怖かったけれどチャレンジしたらとても楽しかったです。カヤックがスピードが速くてとても楽しかったです。
 - ・ サポートがすごく良かったスタッフの皆様ありがとうございました。
 - ・ 初めてのカヤックやSUPの経験をしました。想像以上に難しかったです。
 - ・ カヌーレースが楽しかった
 - ・ 写真データを共有できればと思います。
 - ・ 初めてカヌーカヤック体験でしたが、スタッフの皆さんの温かいサポートのおかげでとても楽しい時間を過ごせました。またぜひ!!このような機会があれば参加したいです。
 - ・ 初めての経験でしたがとても楽しかったようです。また機会があればやってみたいです。大変楽しく過ごせました、他校の子とも仲良くできる機会でした。
-